



年 組 名前

道新でワークシート

外国人観光客向け実証実験

突然の不調に 母国語で対処法

北海道運輸局は、旅先で体調を崩した外国人観光客向けの相談サイトを作成し、20日から後志管内の倶知安、ニセコ両町の宿泊施設2〜3カ所にタブレット端末を設置して実証実験を行う。症状を入力するだけで、対処方法や受診の緊急度などが母国語で表示される仕組み。緊急性の低い外国人患者が夜間・休日に病院にかかる「コンビニ受診」が目立つ中、病院の負担軽減につなげたい考えだ。

実証実験は2カ月間行われ、各宿泊施設のフロントなどに設置した専用のタブレット端末で閲覧できる。日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語の4カ国語に対応し、利用者は「頭痛」「発熱」「鼻水」などの症状と既往症などの有無を選択すると、適切な対処法が表示される。

既往症がある場合は病院での受診を勧め、近隣の病院やタクシー会社の所在地、連絡先が表示される。症状によっては薬局の利用も勧め、症状の改善につながる薬の成分も表示する。「サツドラニセコひらふ店」と連携し、必要に応じて店員とインターネット電話「スカイプ」を通じて薬の購入に関する相談もできる。

倶知安・ニセコ両町で唯一の急性期病院である倶知安厚生病院の冬期（12月〜3月）の外国人外来・入院患者数は2016年度で約1600人と05年度の8倍に拡大。コンビニ受診も増えているという。

運輸局は実証実験でサイトの有効性を検証し、将来的には全道的に展開したい考え。担当者は「外国人観光客の受け入れ環境整備の向上につなげたい」としている。（土屋航）

倶知安・ニセコ 不要不急の受診抑制

北海道運輸局は、旅先で体調を崩した外国人観光客向けの相談サイトを作成し、20日から後志管内の倶知安、ニセコ両町の宿泊施設2〜3カ所にタブレット端末を設置して実証実験を行う。症状を入力するだけで、対処方法や受診の緊急度などが母国語で表示される仕組み。緊急性の低い外国人患者が夜間・休日に病院にかかる「コンビニ受診」が目立つ中、病院の負担軽減につなげたい考えだ。

実証実験は2カ月間行われ、各宿泊施設のフロントなどに設置した専用のタブレット端末で閲覧できる。日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語の4カ国語に対応し、利用者は「頭痛」「発熱」「鼻水」などの症状と既往症などの有無を選択すると、適切な対処法が表示される。

既往症がある場合は病院での受診を勧め、近隣の病院やタクシー会社の所在地、連絡先が表示される。症状によっては薬局の利用も勧め、症状の改善につながる薬の成分も表示する。「サツドラニセコひらふ店」と連携し、必要に応じて店員とインターネット電話「スカイプ」を通じて薬の購入に関する相談もできる。

倶知安・ニセコ両町で唯一の急性期病院である倶知安厚生病院の冬期（12月〜3月）の外国人外来・入院患者数は2016年度で約1600人と05年度の8倍に拡大。コンビニ受診も増えているという。

運輸局は実証実験でサイトの有効性を検証し、将来的には全道的に展開したい考え。担当者は「外国人観光客の受け入れ環境整備の向上につなげたい」としている。（土屋航）

▶ 体調相談サイト ◀

北海道運輸局が作成した「体調相談サイト」

2018年12月15日朝刊経済全道遅版

①体調相談サイトが作成された目的を、記事を参考に書きなさい。

②体調相談サイトを使うと、どのようなことが可能ですか、記事を参考に書きなさい。